

### 委員からの主な意見

- ① コロナの規制はなくなってきているが、飲食店等を含め、回復に向かっていない状態なので、本戦略プランを活用するなどして回復させていければと考えている。
- ② 大崎地域や東北は自然環境の部分が売りの地域なので、成長戦略にサステナブルツーリズムを入れたことは、非常にポイントが高い。
- ③ 町で観光ビジョンを策定したが、大崎圏域として、県の観光プランや国ともうまく連動しながら益々誘客を図っていきたい。
- ④ ゴールデンウィークには、キャンプ場やコテージの利用がコロナ前を大きく超えた。教育旅行や企業の社員旅行のスタイルが変わってきており、単に個人客だけではなく、BtoBやBtoCに合うような受け入れを整えていく必要がある。
- ⑤ コロナ禍で団体客の行動が少なくなり、小グループや家族での行動が圧倒的に多くなっているので、それに見合う対応を考えていく必要がある。
- ⑥ ゴールデンウィークに観光客が多く訪れたが、日帰り客がほとんどで宿泊に結びついていないというのが大崎圏域全体の課題である。
- ⑦ 石巻線から陸羽東線という横串があるので、人の移動とかいろいろ生み出せる知恵を皆で作りに出せるのではないかな。
- ⑧ 成長戦略で、高校の観光科や商業科が観光産業を支える担い手とされているが、農業高校も担い手になるのではないかな。
- ⑨ JRから乗客2000人以下の地方路線廃止の話も出ているが、陸羽東線はぜひ残していただきたい。
- ⑩ 駅の利用は、昨年のゴールデンウィークより大幅に増えているが、まだ観光地に向かう客が多いという感じではない。
- ⑪ 指定管理の事業者も戦略プランの取り組みを展開していければ、集客につながるのではないかな。
- ⑫ コロナの長期化で鳴子温泉自体が後ろ向きになっている。多額の負債を抱えている中で、コロナ前に戻っただけでは苦しい状態なので、成長目標以上を目指して取り組んでいく必要がある。
- ⑬ 圏域の現状として、明確なターゲットの設定とマーケティングが不足しているというのは大事な点であり、DMOなどの組織の強化支援等も考えていく必要がある。
- ⑭ 地域の衰退は企業の衰退でもあり、地域の活性化のために何ができるかという取組と、協働できるところを協議していく必要がある。

- ⑮ コト消費のコンテンツの掘り起こし，磨き上げを，住民参加型により進めていきたい。
- ⑯ 観光と「食・農」との連携が一番大事であり，生産して消費していく流れができないと持続可能になっていかないので，連携を具体的に動かしていく必要がある。
- ⑰ 世界農業遺産について伝えようとしても説明がしづらいので，魅力の伝え方についてしっかり連携を図る必要がある。